

[GRAPEVINE]

第48回ASEV年次大会参加記5
Board of Directors Reception/Dinner 報告
日米交歓 Dinner Party 報告

メルシャン (株) 佐藤 充克

ASEV 第48回年次大会は San Diego Convention Center で6月30日~7月2日に開催された。6月30日は Zinfandel Symposium もあったが、本大会の登録およびASEVの役員が出席する Board of Directors のディナーが夕方6:30ごろから行われた。日本からは、平山会長と横塚先生(Executive Director)が招待され、私は平山会長の通訳として参加させていただいた。会場は我々が宿泊したマリオット・ホテルに隣接したヒルトン・ホテルであった。

ディナーには、各支部の会長や責任者、今までの会長経験者などが招待されており、意外に若い人もかなり見受けられた。ディナーに先立ち、入り口の広間ではシャンパンがふるまわれ、懐かしい面々と再会を喜びあった。私にとっては、UC Davis の多くの先生方と再会でき、互いの健康を確かめることができた。特に、ブルータスに並んで写真が掲載された Andy Waterhouse 先生は、日本の雑誌にワインと健康の記事で写真が載ったことを殊の外喜んでいて、平山会長に多くの主要な ASEV メンバーを紹介できた。

ディナーは場所を移して、7:00 ごろから始まった。席は決まっておらず、皆適当に着席したが、我々は適当にあいている席にすわっていたら、Lindie Boulton (Executive Director) が気を利かしてくれ、スカラシップに当たった若い研究者が多く座っている席をアレンジしてくれた。若い人が多かったのは、奨学金当選者が20名もいたからであった。ディナーは前会長の Jim Wolpert 会長の挨拶で始まった。本会の主要な目的は、まさに懇親であり、議題はない。ディナーを食べながら、新会長、Diane Kenworthy 女史の挨拶があり、我々支部からの参加者、ASEV スカラシップ受領者の紹介および彼等の挨拶があった。米国の会食には、日本のように三本締めで締めるというような習慣はなく、9:30 ごろに会はお開きとなった。



挨拶をする Jim Wolpert 会長

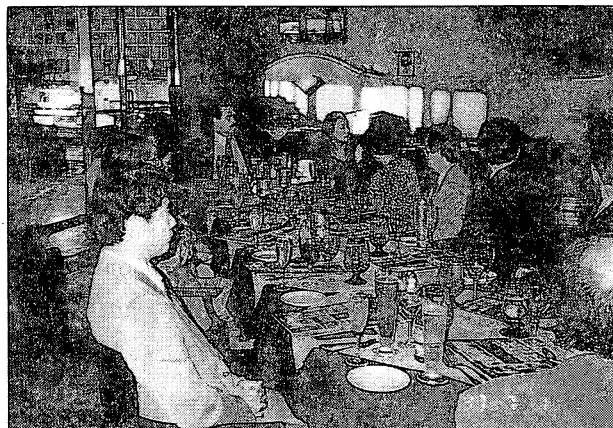


平山会長の挨拶

日米交歓 Dinner Party 報告

平山会長主催の ASEV 常任理事会メンバーおよび日本からの参加者を交えたディナーが7月1日夕方7:00

ごろより、マリオットホテルからほど近い Sally's レストランで開催された。米国側の参加者は全てご夫婦で参加され、7組14名の参加であり、日本からは平山会長、横塚先生、岡本先生、米虫先生、篠原先生、高柳先生、後藤奈美先生、柳田博之氏、赤松氏、中尾氏、近保氏、雨宮氏、谷口氏、佐藤の14名であった。会は私が拙い英語で進行役を勤めたが、非常に良い雰囲気で行始した。最初に平山会長から挨拶があり、しばらく歓談後、一人ずつ自己紹介を兼ね、短いスピーチを行った。会長からは、ASEV側全員にお土産(絵柄センス)が手渡され、ASEVから



からも日本人側(3名)にASEVロゴ入のソムリエ・ナイフのプレゼントがあった。今秋のASEV日本支部大会に招待されている、Diane Kenworthy 新会長は日本に来るのが初めてで、日本訪問を大変楽しみにしている様子であった。8月になって、Jim Wolpert 会長から礼状が平山会長宛に来ており、ディナーのお礼と共に、日本からの参加者のワインに関する知識の深さ、英語力に感心したこと、Jimも日本語を話せるようになりたい旨書いてあった。
